

平成22年度に事後評価を行った強い水産業づくり交付金事業

整理番号	実施年度	政策目標	事業主体	事業内容
18-1	平成18年度	経営構造改善目標	鳥羽磯部漁協	製氷施設
18-2	平成18年度	経営構造改善目標	三重外湾漁協	製氷施設
18-3	平成18年度	経営構造改善目標	三重外湾漁協	製氷施設
18-4	平成18年度	経営構造改善目標	志摩市	つきいそ
18-5	平成18年度	経営構造改善目標	尾鷲漁協	冷却海水製造装置
18-6	平成18年度	経営構造改善目標	熊野市	つきいそ

平成18年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	18-1	三重県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 水産鮮度保持施設
事業実施主体	鳥羽磯部漁業協同組合	
評価期間	平成19年度～21年度	
事業費	152,208 千円	
交付金額	72,480 千円	
成果目標	3年間の総便益	42,961 千円
実績値	3年間の総便益	707,249 千円
成果目標の達成率	1646.3 %	
事業の目的	鳥羽市答志地区に水産鮮度保持施設(製氷10t, 貯氷30t)を整備し、氷の安定供給と氷購入に係る営漁経費の削減等を図る。	
事業の成果	当該施設の整備により、地区の氷不足は解消された。 利用実績は計画を上回り、施設は十分利用されている。 当該施設整備や鮮度管理の取り組みにより、魚価向上が図られた。	
その他特筆すべき事項		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考	施設整備以前は慢性的な氷不足で、一部の組合員は自家製氷施設を保有し氷を確保してきた。これら組合員の多くは施設整備後も自家製氷を継続しており、新施設利用による氷調達コストの削減すすめる必要がある。	

平成18年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	18-2	三重県
メニューの内容	水産鮮度保持施設	(施設名) 水産鮮度保持施設
事業実施主体	三重外湾漁業協同組合(志摩の国漁業協同組合)	
評価期間	平成19年度～21年度	
事業費	118,182 千円	
交付金額	56,277 千円	
成果目標	3年間の総便益	54,838 千円
実績値	3年間の総便益	39,845 千円
成果目標の達成率	72.7 %	
事業の目的	浜島地区に製氷貯氷施設を整備し、氷の安定供給と氷購入に係る漁業者の営漁経費削減等を図る。	
事業の成果	氷の安定供給が実現され、漁業者の営漁経費が削減された。 初年度には、初期不良等故障による休止期間があったため、平均年間便益の算出に当たっては初年度分を除外した。	
その他特筆すべき事項	特になし	
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考	カツオ漁の不振が施設の利用実績を引き下げており、県が設置する浮漁礁の利用や県の提供する海況データの活用で水揚げが確保され、施設が十分利用されるよう指導する。	

平成18年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	18-3	三重県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 水産鮮度保持施設
事業実施主体	三重外湾漁業協同組合(志摩の国漁業協同組合)	
評価期間	平成19年度～21年度	
事業費	127,846 千円	
交付金額	60,879 千円	
成果目標	3年間の総便益	61,941 千円
実績値	3年間の総便益	64,649 千円
成果目標の達成率	104.4 %	
事業の目的	波切地区に製氷施設を整備し、氷の安定供給と氷購入に係る漁業者の営漁経費削減等を図る。	
事業の成果	氷の安定供給が実現され、利用実績は計画を上回った。営漁経費削減等に係る成果目標も現状値が目標値を上回った。	
その他特筆すべき事項	特になし	
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考		

平成18年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	18-4	三重県	
メニューの内容	つきいそ	(施設名)	つきいそ
事業実施主体	志摩市		
評価期間	平成19年度～21年度		
事業費	4,125	千円	
交付金額	2,062	千円	
成果目標	単位生産増加量	0.090	kg/m ³
実績値	単位生産増加量	0.072	kg/m ³
成果目標の達成率	80.0	%	
事業の目的	つきいそ漁場(自然石 500kg内外 895 m ³)を整備し、水揚げ増を図る 対象魚種 アワビ、イセエビ		
事業の成果	当該施設は地区漁業者に利用され水揚げに貢献している。 主な対象魚種のアワビは全県的に減少傾向にあり、現状値が成果目標を下回った。		
その他特筆すべき事項	当該施設整備は、主として海女漁業のための漁場を水深の浅い場所に造成するもので、高齢の海女漁業者の漁獲安定に寄与している。		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考	アワビ資源の減少傾向への対策として、漁獲管理に加え、藻場の保全策やヒトデ等の害敵対策を指導していく。		

平成18年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	18-5	三重県
メニューの内容	漁業生産基盤等の整備	(施設名) 海水処理施設
事業実施主体	尾鷲漁業協同組合	
評価期間	平成19年度～21年度	
事業費	25,000 千円	
交付金額	12,500 千円	
成果目標	3年間の総便益	14,241 千円
実績値	3年間の総便益	15,173 千円
成果目標の達成率	106.5 %	
事業の目的	殺菌冷却海水製造貯水装置を尾鷲地区に整備し、漁獲物の鮮度保持と漁業者の営漁経費節減を図る。	
事業の成果	殺菌冷却海水製造貯水装置の設置により、漁業者の氷の購入費用や運搬のための燃料費が削減され、営漁経費節減が図られた。	
その他特筆すべき事項	特になし	
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策		
備考	想定よりも水光熱費が高くなっており、冷却海水の無駄使いをなくす等、経費節減にも配慮するよう指導する。	

平成18年度 強い水産業づくり交付金
(経営構造改善目標)事後評価結果について

整理番号	18-6	三重県	
メニューの内容	つきいそ	(施設名)	つきいそ
事業実施主体	熊野市		
評価期間	平成19年度～21年度		
事業費	7,088	千円	
交付金額	3,544	千円	
成果目標	単位生産増加量	0.076	kg/m ³
実績値	単位生産増加量	0.091	kg/m ³
成果目標の達成率	119.7	%	
事業の目的	つきいそ漁場(自然石 1t内外 1,975 m ³)を整備し、水揚げ増を図る。 対象魚種 イセエビ		
事業の成果	計画を上回る漁獲が実現され、成果目標は達成されている。 施設は地区漁業者に利用され、事業の効果が出ていると考えられる。		
その他特筆すべき事項	特になし		
成果目標が未達成(達成率が70%未満)の場合はその理由及び改善方策			
備考			